

主要事業評価シート(第1次実施計画/H29・30・R1年度)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	総合政策部	
	17096	若者交流推進事業	課名	政策課 政策調整G	
	施策の大綱	05:市民力・地域力の活性化	財務科目	会計	01:一般会計
	基本施策	02:市民参画・協働の推進と多様な交流活動の促進		款	02:総務費
	施策の方向	01:市民参画・協働の推進		項	01:総務管理費
戦略プロジェクト	-	目		07:企画費	
事業予定期間	H 28 ~ R - 年度	主な根拠法令要綱等			

② 目的・概要	対象	市内在住・在勤の若者
	目的	若者同士が交流する基盤を確保し、市の事業への参加やイベントの開催、政策アイデアの発表等を通じた交流機会を創出することで、若者世代の積極的なまちづくりへの参画を促進し、地域の活性化を図る。
概要		平成28年度に設置した「かめやま若者未来会議(愛称:わかめ)」を交流基盤とし、メンバー会議の開催、市内行事への参加、多種多世代の市民等との交流会、まちづくり先進地視察などの活動を行う。また、平成30年度には、「かめやま若者未来会議」の主催によるイベントを開催し、令和元年度に政策アイデアの発表を行う。

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画	<ul style="list-style-type: none"> ○メンバー会議の開催 ○市内行事への参加 ○市民等との交流会の開催 ○まちづくり先進地の視察 ○スキルアップ研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○メンバー会議の開催 ○市内行事への参加 ○市民等との交流会の開催 ○まちづくり先進地の視察 ○スキルアップ研修の実施 ○政策アイデアの発表に向けた検討 ○若者会議主催イベントの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○メンバー会議の開催 ○市内行事への参加 ○市民等との交流会の開催 ○まちづくり先進地の視察 ○政策アイデア発表会の開催 	
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ○メンバー会議の開催:7回 ○市内行事への参加:1回(亀山大市にて「亀山茶あげぱん」の販売) ○市民等との交流会の開催:1回(活動報告会) ○まちづくり先進地の視察:2回(福井県鯖江市、静岡県焼津市) ○スキルアップ研修の実施:1回(プレゼンテーション研修) 	<ul style="list-style-type: none"> ○メンバー会議(政策アイデアの検討を含む)の開催:5回 ○市内行事への参加:3回(花しょうぶまつり、街道まつり、シティマラソン) ○市民等との交流会の開催(若者会議主催イベントの開催):2回(春の交流会等) ○まちづくり先進地の視察:1回 ○スキルアップ研修の実施:1回(イベント等の企画・運営ノウハウについて) 		
事業費	計画額	事業費	1,000千円	1,000千円	1,100千円
		国庫支出金	500千円	500千円	550千円
		県支出金			
		地方債			
		その他			
予算額	事業費	事業費	656千円	900千円	
		国庫支出金	431千円	450千円	
		県支出金			
		地方債			
		その他			
決算額	事業費	事業費	461千円	285千円	
		国庫支出金	220千円	138千円	
		県支出金			
		地方債			
		その他			
人件費	総人件費	総人件費	1,536千円	1,557千円	
		一般職員	1,536千円	1,557千円	
		所要人員	0.20	0.20	
		臨時職員等	0千円	0千円	
		総コスト(①+②)	1,997千円	1,842千円	
受益者負担率	0.0%	0.0%			

				平成29年度	平成30年度	令和元年度
④ 指標	①	名称	市の行事へかめやま若者未来会議が参加した回数	計画値	1	1
			市の行事への出展、出演、発表の回数	実績値	1	3
				単位	回	回
	②	名称	かめやま若者未来会議が主催したイベントの回数	計画値	1	2
			主催した交流会、イベント、発表会の回数	実績値	1	2
				単位	回	回
	③	名称	かめやま若者未来会議の登録者数(累計)	計画値	40	45
			平成28年度からの累計登録者数	実績値	43	50
				単位	人	人

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 メンバーが無理なく企画・運営能力を身につけていけるよう、懇親会など簡易な企画からメンバー主導で実行していける雰囲気づくりを行う。また、引き続き、まちづくり先進地の視察や研修等を通じてまちづくりへの理解・関心を深めるとともに、若者目線での具体的な政策アイデアを検討する機会を設ける。この他、メンバーがより楽しく交流できる場づくりを進めるとともに、活動をPRし、主体的に地域の盛り上げに取り組むメンバーの充実を図る。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 メンバー会議においては、アイスブレイクを行うなどメンバーの意見交換が活発に行われるよう工夫し、イベントの企画をメンバー主導で実行できるようアイデア出しや役割分担をメンバー同士で話し合い、実行できる雰囲気づくりを行った。また、まちづくりへの理解・関心を深める機会とするため、まちづくり先進地視察や研修、政策アイデアの発表に向けた検討を行った。楽しく交流できる場づくりのためのレクリエーションに加え、メンバーの充実のための活動PRを行った。

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 政策アイデアの検討を含むメンバー会議(5回)、まちづくり先進事例の視察(兵庫県丹波篠山市:1回)、イベントの企画・運営ノウハウに関する研修(1回)、市内行事への参加(3回:花しょうぶまつり、東海道関宿街道まつり、江戸の道シティマラソン)、市民等との交流会(若者会議主催イベント)(2回:キックオフミーティング、春の交流会)を行い、事業計画どおりに実施できた。	A 計画どおり実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 メンバー会議等の開催により、若者同士の交流が促進された。一方、これまでの活動や視察・研修を通して得られたつながりや学び・経験を生かしたアウトプットとして、かめやま若者未来会議主催のイベント等を実施するなど、メンバー主体となった企画・運営を行うことができ、まちづくりへの参画につながる意識醸成や人材育成につながった。	A 十分な成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 若者の積極的なまちづくりへの参画により地域活性化が図られるように、まちづくりの参画への意識醸成や若者の力によって具体的にどのような取り組み(政策アイデア)を行っていくかについて、これまでの活動を通じて得た疑問や課題をもとに、メンバーとともに検討・実行していく必要がある。また、引き続き、メンバーが楽しく交流できる場づくりを行うとともに、主体的に活動するメンバーの充実を図る必要がある。	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 メンバーの主体性を大切にしながら、政策アイデアを検討する手法として視察や研修を行いながら、検討する場を設ける。また、引き続き、メンバーが楽しく交流できる場とするため、レクリエーションも交えながら雰囲気づくりに取り組むとともに、活動のPRを行い主体的に活動するメンバーの充実に取り組む。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 政策アイデアの検討を通じて、メンバーの本市のまちづくりに対する理解や関心が高まり地元への愛着や誇りが醸成されるとともに、まちづくりへの参画を自分事として捉え取り組みつなげることで、地域の活性化が図られる。	
	対応時期	令和元年度	

【1次評価者】	総合政策部 政策課 政策調整グループリーダー 堤 大介
【最終評価者】	総合政策部 政策課長 笠井 武洋

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	A	A			
	成果	A	A			